

# 街道東城路・街並み通信

vol. 1

～街道東城路周辺地区 魅力ある街並みづくりと地域の活性化 ワークショップについて～

平成27年11月 発行：庄原市都市整備課

街道東城路周辺地区において、歴史的な街並みの魅力を更に高めるとともに、賑わいの創出や住みよさの向上を図るため、住民や関係団体等の皆さんを中心としたワークショップを、今年度・来年度で開催します。ワークショップでの意見・提案をもとに、庄原市として具体的な施策・事業を検討するとともに、地元住民・事業者等の皆さんによるまちづくりの取組を促進します。なお、第1回ワークショップは11月10日（火）に開催しました。

ワークショップでは、『建築等に係るルールづくり、公共施設整備』を話し合うA・B班と、『観光交流や地域生活(住みよさ)』を話し合うC・D班に分かれ、班ごとに街並み体験（現地調査）を行いました。現地調査後は、参加者が地域を再発見・再認識し、情報や課題等を共有するために、「魅力・資源、強み」、「問題点、弱み」について話し合い、その成果を発表しました。

## 第1回ワークショップのプログラム等（要点）

日時：平成27年11月10日（火） 13:30～16:45 会場：庄原市役所東城支所  
参加者：住民・関係団体等の皆さん16人、アドバイザー1人、広島県3人、庄原市役所9人  
進行役4人、報道機関2人

### はじめに

- あいさつ・開催趣旨
- ワークショップの全体の流れ、テーマと班構成
- 今日の進め方

知っているようで、初めて気づくこと、思い出すこともありました。  
“ブラタモリ”を体感しました。...

### 街並み体験（班ごとに現地調査）

#### A・B班(商店街・水辺コース)



#### C・D班(商店街・住宅地コース)



### 特色・魅力、問題点などの検討（班ごと）

『ルールづくり・施設整備班』（A・B班）

『観光交流・地域生活班』（C・D班）

それぞれの班で、特色・魅力、“強み”の検討⇒問題点、“弱み”、“おいしい”点の検討



### 全体会

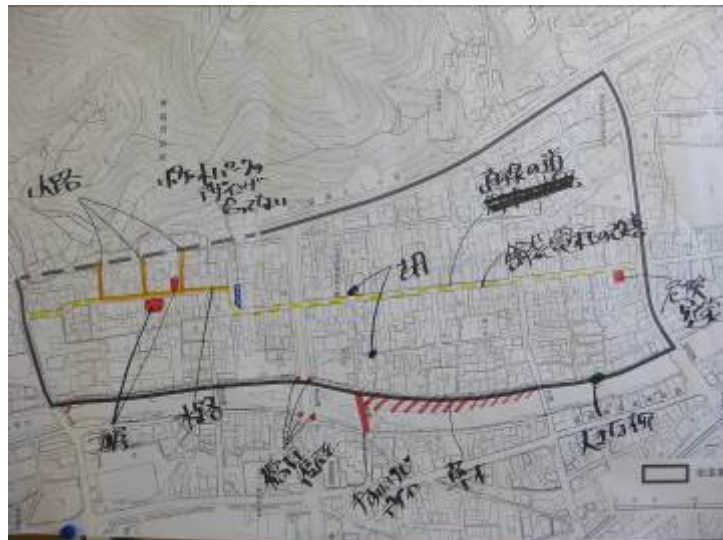
- チームごとの発表、アドバイザー（松田智仁先生：広島大学教授）のコメント
- 次回（第2回）の案内：平成27年12月9日（水） 19:00～ 会場：庄原市役所東城支所  
テーマ 『目指す姿・方向性と取組のアイデアを考えよう』

**A・B班『建築等に係るルールづくり、公共施設整備について』**

分類	主な意見（概要） ⇒はアイデア・希望・期待
「強み」 良い点・魅力	<b>通り・路地・小路</b> ・一直線に見通せる直線な道 ・風情を残した小路（絶好のカメラ視線、文化遺産） ・小路の名称づけ⇒すべての小路に ・家の前に駐車場をつくっていない
	<b>歴史的な街並み</b> ・古い街並みとデザイン性のある建物の調和 ・思っている以上に周辺に配慮したデザイン <b>文化財・歴史的建造物</b> ・家の高さがほぼ揃っている ・木造3階建て（3軒くらい）、お寺が3か所 ・商店の多さ（種類も多い） ・食堂などに昔の看板 ・酒蔵が2軒 ・胡神社が各所⇒胡神社の格式ある造りの再構築 ・ヤマモトロックマシンの建物 ・約200年の建物 ・築100年近い建築建物⇒率先して残していきたい ・文化財（寺、店など）が点在（色んなところを歩いてみたくなる）
	<b>格子、板のれん、こて絵など</b> ・室外機の木枠（格子の目隠し） ・木格子等による統一感 ・なまこ壁 ・こて絵 ・板のれん（いい感じ） ・小さな灯ろう約300個設置（イベント時に点灯）
	<b>水路</b> ・自然石の水路 ・水路の活用（昔の並みの風情を） ・昔の側溝の石積みを出す⇒安全確保やフタ掛けによる利便性との調整
	<b>川・橋</b> ・歴史的な橋のデザイン ・大きな柳（ライトアップできないか） ・橋から見た川の流れ、岩などの形（昔は子どもが泳いでいた）
	<b>活動・やる気</b> ・やる気はある ・修理等をしていない家もたくさんある（今後の可能性あり） ・道路などにゴミがなく清掃されている
「弱み」 問題点 「おしい」と	<b>建物等のデザイン、ルール</b> ・建物に統一感がない部分 ・えびすの屋根（金属板で工夫が足りない） ⇒新築や改築に規制をかけては？ 一軒一軒特色を活かす、合板より「むく」の木材を利用、 金属製サッシの利用は慎重に、街の表構えだけでも色彩の統一などできないか ・様々な（統一感のない）街灯⇒デザインの統一化 ・新町ポケットパークの建物等デザインが調和していない
	<b>道路（構造、舗装など）</b> ・昔はコンクリート、その上にアスファルト（状態が悪い）⇒舗装の再整備（カラー） ・道路構造が悪い⇒道路整備（年次の計画）
	<b>駐車場</b> ・道路から敷地に雨が入る場所も ・道路の端の足場が悪い（側溝） ・駐車場が少ない
	<b>交通安全</b> ・歩くには車の通行が多い ・通行車両の速度が速い⇒歩車分離が必要
	<b>電柱・電線類</b> ・電柱が邪魔⇒無電柱化、電線（あらゆる線）の地中化 ・街灯の柱が邪魔 ・街灯のデザイン（塗装の劣化等）
	<b>橋</b> ・中央橋のガードレールが景観に合わない（錆も） ・大橋、城山橋の風情がなくなっている⇒橋柱復元（橋燈）
	<b>川、水路</b> ・川に草木が生えている（昔はもっと良い雰囲気）⇒川の整備（草刈り等） ・川が活用されていない ・川沿いフェンス⇒デザイン（色）の統一 ・本町筋の水路⇒水が流せるのではないか ・水路、側溝に蓋があったり、なかったり、デザインバラバラ
	<b>空き家・空き地・危険家屋</b> ・危険な空き家（倒壊のおそれのある建物）など⇒人の不在の家を早期解決 ・空き家の雨漏りで良い壁が壊れている ・空き地化し、駐車場があちこちに
<b>案内表示</b> ・案内板なし（歩行者用）	



A班（意見整理）



B班（作成マップ）



## C・D班 『観光交流や地域生活(住みよさ)について』

分類		意見(概要) ⇒はアイデア・希望・期待
良い点・魅力 「強み」	通り 路地・小路	<ul style="list-style-type: none"> <li>入り組んだ小路(コースが多い)</li> <li>路地歩きが楽しい</li> <li>路地・小路がきれい</li> <li>細かい路地にも寺や店があり楽しい</li> <li>小路に名前がある</li> </ul> ⇒案内板などの整備・充実、まち歩きガイドの養成
	歴史的な街並み 文化財・歴史的建造物	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和中期まで栄えていた名残のある街並み、建造物、雰囲気</li> <li>洋館風の建物</li> <li>古い建造物、構造物の醸し出す雰囲気</li> <li>ボリュームや重厚感</li> <li>塀(土塀)</li> <li>明治と昭和の雰囲気(洋館と格子の建物)</li> <li>酒蔵</li> <li>空き家も資源(活用)</li> </ul> ⇒歴史的な建物や遺構などの保全、城下町東城の良さをアピールすること
	商店の魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>街並みと調和した美容院</li> <li>ベンチがあると助かる(何カ所か置いてある)</li> <li>魚屋、果物、洋服店、専門店</li> <li>オープンガーデン(坪庭の公開)、通りに花</li> </ul>
	川と水路 街並みとの関係 自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の流れのあるまち、流れる音</li> <li>川沿いの道で水の勢いを体感</li> <li>石積み水路</li> <li>川沿のウォーキング</li> <li>川沿いからの眺めが絶景</li> <li>山、川、桜並木、美味しい空気</li> </ul> ⇒街の中心である東城路と川とを結びつける
	歴史の継承 昔ながらの行事・体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史伝承(言い伝え、物語)</li> <li>東城小学校百年史(誰がするか)</li> <li>一昔前のことを覚えている方々がまだ多く住んでいる⇒伝えていって欲しい</li> <li>四季折々の風習を守り続けている(雛祭り、端午の節句、箱庭、天満書(七夕))</li> </ul>
	近隣関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>人情深い</li> <li>近所で協力して飾り付け(相乗効果)</li> </ul>
問題点・課題 「弱み」「おしい」	商店街の環境・にぎわい不足など	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型バスの駐車場所が少ない</li> <li>駐車場からの動線がわからない</li> <li>滞在スポット(食事・休憩)が少ない⇒まだまだ欲しい</li> <li>日曜日の閉店が多い</li> <li>お通り以外は土日含めて人通りが少ない</li> </ul>
	資源の整理・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源が未整理</li> <li>目玉となる物が少ない</li> <li>滞在時間を稼げる施設・商店が少ない</li> </ul> ⇒お寺(古い歴史のある)をバックアップして観光名所に、昔の物をもっと活用
	ネットワーク不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>宣伝が行き届いていない</li> <li>りんご園、帝釈峡、東城まちなみ“おいしい”</li> </ul> ⇒点と点を結びつける策を考える
	川、水路	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の降り口(水の流入)</li> <li>水路がきたない、川の雑草⇒川をきれいにしたい</li> <li>川沿いに照明がないので、夕方以降は暗くて歩きにくい</li> </ul>
	コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>回遊コースがない</li> <li>どこまで路地に入ってよいかわからない</li> </ul>
	サイン・案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内サインが少なく、観光資源が活かされていない</li> <li>まち歩きガイドが少ない</li> </ul> ⇒昔の建物の説明板、デザインされたサイン等で街道の統一感があるとよい
	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な道路による街路の寸断</li> <li>路上駐車が多く歩きづらい</li> <li>道路のてこぼ</li> <li>車と人の関係、電柱が邪魔(歩く人にやさしい道ではない)</li> <li>道路幅員</li> </ul>
	空き家・空き店舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の増加</li> <li>素晴らしい建物が空き家</li> </ul> ⇒所有者は特定できる(修繕費補助、荷物の処理対応)、活用して街道東城路の魅力に壊れかけた家の処理、空き家・空き店舗の管理、情報の共有化(どうするか)地域住民の活動、特に若い人の力・商売、クリエイター、アーティストの募集
人材不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化で準備、片付けが難しくなる(雛祭り)・人材不足でやりたい事ができない</li> <li>⇒高齢者も適材適所で参加して欲しい、高校や県立大学の応援を受けたい</li> </ul>	



C班(作成マップ)



D班(意見整理)

## アドバイザー（松田智仁先生[広島大学教授]）からのコメント（要約）

### 1 外の目の視点も！

歴史ある街を歩くと、日頃から知っていることもありますが、一緒に歩く人に話を聞いて思い返すこと、気づくこともあります。地元のある人がすべてを知っているのではなく、このことは、〇〇さんが詳しい等々、地域には様々な人材がいらっしゃいます。

一方で、本日の例で言えば市の職員といえども東城町以外の人も多く、外からの目線という見え方になります。来訪者を迎える中で、外の人から見たらどうなのか？という視点も大切です。

また、年齢や性別などでも違って見えるため、価値観の違いなども踏まえる必要があります。

### 2 良いことは誰かが行っていることを考えて！

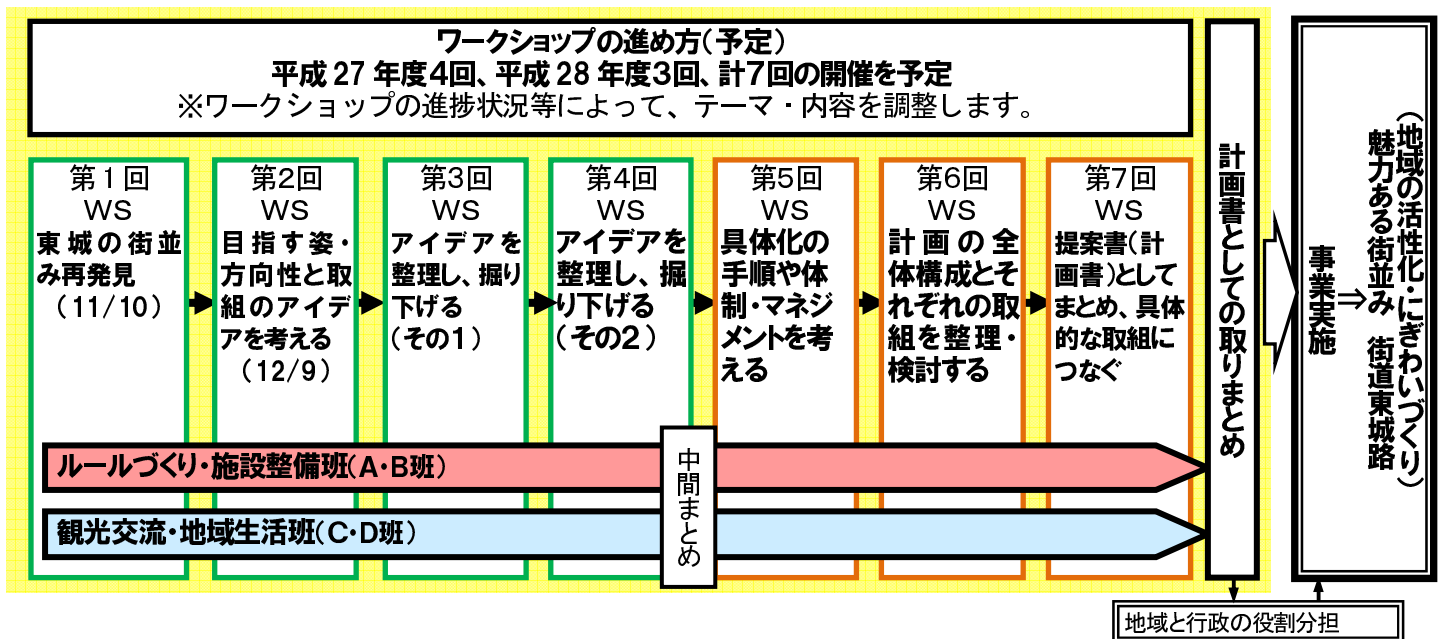
酒蔵やギャラリー、花の飾りなどの良いものは、既に誰かが面倒を見られており、それを守り、グレードアップしていくことが重要です。良いことについては、誰がやっているのかを一緒に考えていくと、次の展開へとつながりやすくなります。

誰かやるのかを抜きにした理想論だけにならないようにする必要があります。

### 3 人を育て、活かしながら、県下で数少ない個性のある街を！

この地区は、県内でも数少ない歴史的建物が多く残されているところであり、和風建築だけでなく洋館も残っているという特徴・個性があります。しかし、このまま手を打たないと空き家などになっていく可能性もあります。

こうしたものを活かしていくのはまさに人です。人を育て活かしながら、併せて、街、歴史、成羽川などの地域資源を、季節の装いを含めて、育てる、活かす、また再びスポットライトを当てるといったこと、東城のまちを活かす方法を考えていくことが重要です。



### 問い合わせ・連絡先

〒727-8501 庄原市中本町一丁目 10 番 1 号

庄原市 都市整備課 担当：福田

電話：(0824) 73-1173 FAX：(0824) 73-1147

E-mail：toshi-shigaichi@city.shobara.lg.jp

～街並みづくりやまちづくりに関わるご意見なども、お寄せください～